

五月廿三日

0384

軍事秘密

戊副發第 二四八 號

戰時陸軍報告規程特別報告提出目錄

昭和十七年 四月 二十二日

駐蒙軍司令

機式番號

表

名

摘要

附表 第四

軍人軍屬ノ變死

一通

17.4.30

17.5.5

17.5.5

17.5.7

原梅

陸軍司令部

兵師副甲第六三號

駐蒙 陸軍司令部 經由

現役兵ノ變死ニ關スル件報告

昭和十七年四月十九日

第兵師團長柴山兼四郎

陸軍大臣東條英機 敬

首題ノ件左記ノ通特別報告ス

左記

一 所屬部隊官等級氏名

獨立歩兵第十三聯隊第四中隊

(昭和十七年徵集) 陸軍二等兵

二月 日 時

逃 亡 昭和十七年四月十日 五時頃(推定)
自殺 昭和十七年四月十一日 六時頃(推定)

三場所

蒙古聯合自治政府巴烏塔拉盟管區厚和布新城北門東方約三百米附近鐵道線路

四手 餃

厚和より包頭方面へ進行中ノ装甲軌道車ニ飛び込ニ自殺ス

五平素又ハ變死前後於ケル参考事項

本人ハ入隊前漢夫ナリレヨリ性放縱、粗暴ニシテ無口ニシテ同僚ニ親シクシテ要注意矣トシテ特ニ教育指導ニ努力セシモ改悛ノ情ナク狡猾ニシテ軍務ヲ厭ヒ自己ノ身邊ノ整理スラ不テ介ナルコトアリ且入隊前關係セル婦人ト文通ヲ貴施スル等其ノ都度上官ヨリ注意セラレ鏡意指導ヲ受ケ

ツ、アリタルモ毫モ改換スルコトナク、中流ヨリ戦友ニ對シテ機
 械スラ休ミシタリ。油ヲ必要トスルニ況シテ人周ニ暇ヤ油ガ必
 要ナリ。等ト軍隊生活ヲ厭フ如キ不審ヲ漏ラレアリタルモナリ
 之。四月十五日五時十五分不寢番萩岡上等兵ガ
 兵ノ不在ヲ發見シ直ケニ離床者名簿ヲ調査セル處氏
 名ノ記入ナキヲ以テ便所 其ノ他心當リノ場所ヲ搜索セルモ
 發見スルニ至ラス。直ケニ此旨ヲ週前下士官ニ報告セリ。
 而シテ萩岡上等兵ト交代セル前不寢番谷山上等兵ハ定
 位置ヨリ離ル、コトナク服務シアリタルニ拘ラス。三等兵
 ノ處床離床ヲ目撃セズ。確實ニ就寢シアリタルヲ以テ五
 時以前ハ班内ニ就寢シアリタルコト確實ト認めラル、モ
 ■三等兵所屬内務班ノ南側窓ノ掛鉤ガ一ツ所脱
 ミアルヨリ判断スルニ五時不寢番ノ交代時期ヲ窺ヒ窓ヨ
 リ脱走セルモノト推定セラル。

六原

因

性放縱ナルヨリ軍隊生活ニ苦痛ヲ感シ之ヲ忌避シ遂ニ逃
亡ラ企圖シ進亡中自己ノ行動ヲ反省軍紀ノ深嚴ナル
制裁ト將來ニ對スル不安トニ恐レ自棄的ニ自殺ヲ決意
スルニ至リタルモノト判断ス

七、故意又ハ不可抗力別
既遂、未遂ノ別

故意、既遂

八、處

置

週番下士官ノ報告ニ依リ週番士官ハ直チニ中隊全員ヲ
起床セシメ人員ヲ點檢シ不在ヲ確認此ノ旨ヲ週番司令
及中隊長ニ報告營内ノ搜索ヲ實^施ス結果不^始營南側
鐵棒附近ヨリ脱柵シタル足跡ヲ發見ス時ニ之時頃ナリ

凡、責任者、處分

週審司令ハ各中隊ニ臨時懸呼ヲ行ハシメ且各中隊員
 番士官ヲ集メ營外搜索ノ區處ヲ命ズ
 又中隊長ハ長以下十名ノ搜索隊七組ヲ編成搜索ニ取
 遣スルト共ニ状況處置等ニ關シテ隊長ニ報告ス
 七時稍々前聯隊本部情報主任ヨリ本朝六時五分
 白塔東方ニ炸ニ於テ装甲軌道車ニ飛ビ込ミタル者アリ
 トノ通報ニ接シテ大隊長、聯隊副官、軍醫、中隊長等
 關係者ハ自動車ニ依リ現場ニ急行セル所現場ハ
 白塔東方ニ非ズシテ前誌場所ノ誤リタルヲ知り引返
 シ九時十五分現場ニ到着憲兵立會ノ下ニ檢屍ノ後
 屍體ヲ収容セリ

逃亡自殺セル

憲兵ガ全ク自己ノ放縱ス性格

ヨリ本件ヲ惹起セルモノト認メ今同ハ各級幹部ニ對シ

□ 其他必要ナル事項

部下ノ訓育指導ノ周密的確ナルベキヲ嚴重訓戒將
來ヲ戒ムルニシム

本人ハ入隊前ヨリ行状悪ク酒量大ニシテ稍々中毒的ノ傾
向ヲ有シアリタリ又婦人關係甚ダ多ク身上書類等ニモ
行状悪シノ記載アリテ中隊ニ於テハ要注意矣トシテ
特ニ留意指導セラルリタルモノナリ

以上